

はすだね通信 第49号

みんなで進めよう
茨城農業改革

土浦地域農業改良普及センター

平成25年1月9日発行

ハスモンヨトウのフェロモン剤による防除(平成24年の結果)

土浦市の沖宿地区では、平成23年に商品名「フェロディンSL」というフェロモン剤によるハスモンヨトウ(以下、ハスモン)の広域防除を行いました。昨年(平成24年)は、隣の田村地区も加わり、湖畔沿いの約150haに及ぶ広大な面積で防除を試みました。今回は、その結果を紹介します。

フェロモン剤について

ハスモンは、メスが「性フェロモン」という物質を放出してオスをおびき寄せ、交尾を誘導します。「フェロディンSL」は、ハスモンの性フェロモンを製剤化したものです。本剤を「ファネルトラップ」と呼ばれる捕虫器(図1)に入れると、そこに性フェロモンに誘われたオスが捕獲されます。これにより交尾が抑制され、受精卵数と次世代幼虫が減少します。

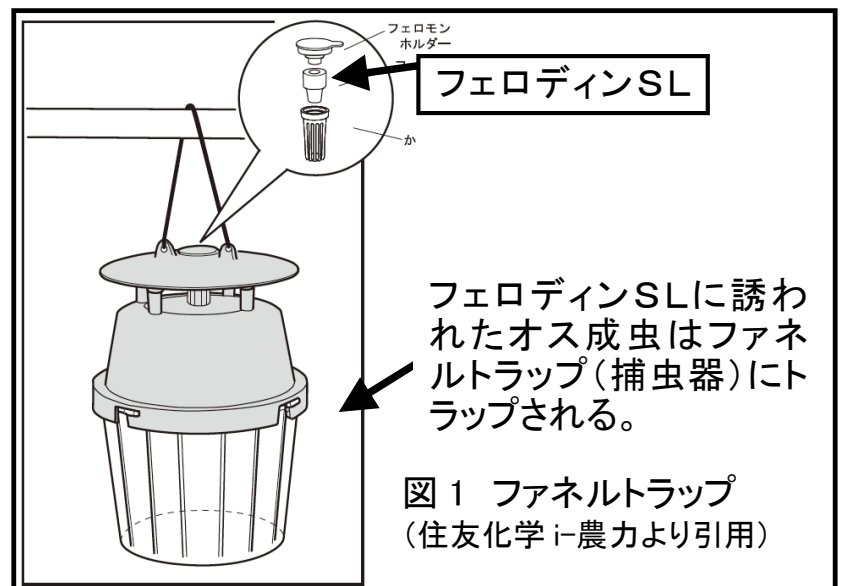


図1 ファネルトラップ
(住友化学・農力より引用)

平成24年の結果

沖宿では7月29、30日、田村では8月3日～8日に、合計約150haでトラップを設置しました。その後、田村と沖宿、トラップを設置しなかった他の2地区(A、B)でハスモン被害を調査しました。

その結果、田村と沖宿の被害は、設置していないA、B地区と比較し、低く推移しました(図2)。

一方で、8月15日では、田村で他地区よりも多くの被害が見られました。平成24年の田村ではトラップ設置前に、他地区よりも早く、または多くのハスモンが侵入していたと考えられます。そのため、次作ではさらなる効果の安定を目指し、トラップの設置時期を検討する予定です。

なお、9月7日以降に被害があまり増えなかったのは、気象の影響(ゲリラ豪雨等)によりハスモン密度の増加が抑えられたためと考えられます。

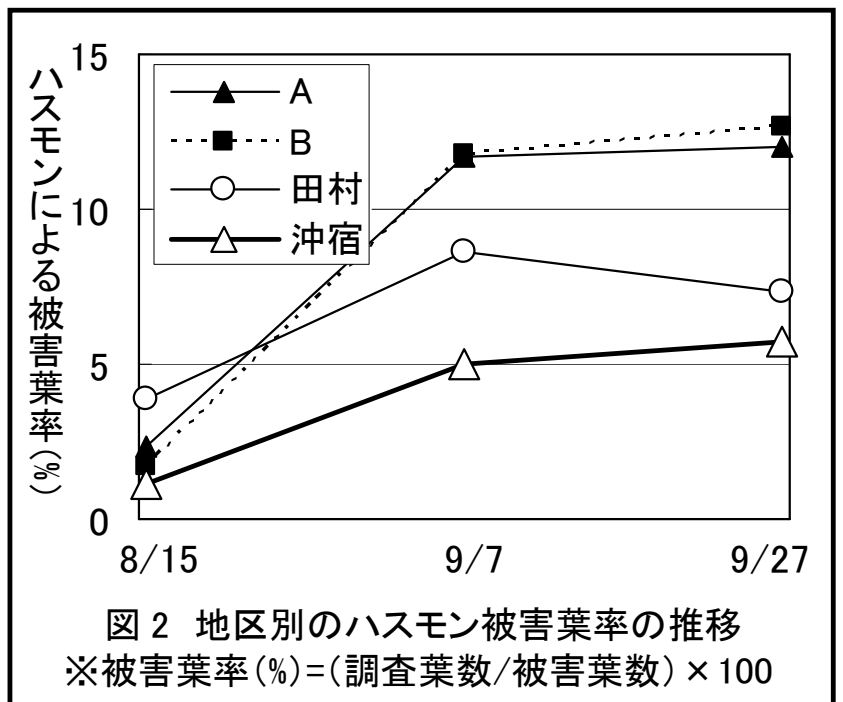


図2 地区別のハスモン被害葉率の推移
※被害葉率(%)=(調査葉数/被害葉数)×100

注意事項

フェロディン SL のトラップは、対象地域の成虫密度が低い発生初期から広範囲(10ha以上)に、1ha当たり2~4台設置します。狭い範囲で使用や、発生が多くなってからの使用では十分な効果は期待できません。新たに使用する場合は、商品の使用方法を十分に確認するとともに、地域で相談してなるべく広範囲で設置し、設置の時期も注意しましょう。

農業は正しく安全に使いましょう!!!